



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1970号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島
TEL(055)984-0120
会長 諏訪部照久 幹事 千葉 慎二



広重版画より 三島 朝霧

第2033回例会

2014.7.10雨

司会

三田明宏君

ロータリーソング

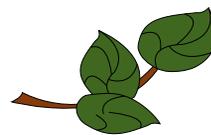
「我等の生業」
指揮 栗原達治君

会長挨拶

会長 諏訪部照久君

皆さん今晩は、このあとクラブ協議会となっていますので、各委員長は発表をお願いします。さて、毎年この様な進行で例会が行われていますが、ロータリークラブが発足した当時はどうだったのかを調べてみました。まず12人でスタートした後に会員の数が急に増えたため、例会の進行上、時間厳守が約束ごととなりました。そして、より親しくなるように、ファーストネームで呼び合うことにしました。ある日、昼食に時間が掛かりすぎて遅刻したメンバーがいたことで、どうせ皆昼に食事をするのだからと、効率をもとめて昼食を兼ねた例会にしたとのことです。その時に例会出席をクラブ活動の根源と考え、4回連続して休むか、半年間の出席率が60%に満たない場合は会員資格が失われる事を決めました。又、会員の事業所を例会場として持ち回る習慣は会員数増加とともに困難となり、1985年6月からホテルやレストランで開くようにしました。クラブ内での会話は宗教、政治、他の団体についての話題を避けるよう申し合わせました。これは逆に、個々人の宗教活動、政治活動、他の団体活動を認め合うと言うことです。そして唱歌は白熱した議論の場を和らげる為に定着しました。また相互扶助や会員同士の職業の情報交換や職業上の知識のために卓話が義務づけられました。例会数は当初2週間に1回でしたが、2週間に1回は集まれるなら毎週集まれないはずは無い、との事から1933年6月から毎週の例会を義務付しました(しかし、特権保有クラブの内2週間に1回のクラブは今なお

150クラブ位あるそうです)。それ以降、現在の様な例会のスタイルになったとのことです。例会のスタイル以外にも幾つか紹介しますと、会員名簿に顔写真をのせたのは当時からで、その理由として“ロータリーは永遠であっても会員の生命・資格は、はかないものであるから”とイメージを留めてあげたいと言う友愛の表れだそうです。会員の事業所がテリトリー内になければならない原則は1968年から緩和されました。1985年には女性会員の入会資格は連邦最高裁の判決により認められるようになりました。以上の様に紆余曲折、長い時間を経て、今の様な例会スタイルになっていますので、先人達の思いをかみ締めながら本日の例会の会長挨拶とさせていただきます。



出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	41/47	87.23%	41/47	87.23%
今回	36/44	81.82%	会員総数	51名

欠席者 石井(彰)君、遠藤(正)君、勝間田君、澤村君、登崎君、西本君、橋本君、柳田君

2014~2015年度
国際ロータリー会長
ゲイリーC.K.ホアン

ロータリーに輝きを

クラブ協議会

SAA 三田明宏君

<基本方針>

三島西ロータリークラブの伝統を継承し、例会時の会場監督であるという立場を認識し、和やかで規律ある例会運営につとめる。

1. 節度と品格のある例会運営に努める。
2. 理事会、幹事、委員会等、連携しスムーズな運営に努める。
3. 例会の開会、閉会、時間厳守に努める。
4. テーブル配置の変更は年度間3回とする。

会員増強維持委員会 委員長 鈴木正二君

基本方針

- 組織は拡充しなければ衰退していくので、クラブの活性化・発展のため会員の増強・維持につとめる。
- 委員会活動を積極的に行い、全会員の情報・協力を得ながら進めていく。

活動計画

- 定期的に委員会を開き「クラブ会員増強の手引き」を読み込んで基本に忠実に行うと共に、並行して先輩会員の意見をとりこむ。
- 推薦者が多くなるように会員とのコミュニケーションを活発にする。
- 推薦者と協力して会員増強をする。
- 候補者の選考審査・職業分類審査をする。
- 2620地区年度方針にのっとり、会員の1名純増をする。

クラブ広報委員会 委員長 川名正洋君

<基本方針>

1. 他の委員会と連携し、ロータリーの情報を一般の方々に広く知って頂くための広報活動を行う
2. クラブ内の親睦活動などを会報(週報)に載せ、クラブ内での情報の共有化を図る
3. 会員のロータリーへの理解を深めてもらうために「ロータリーの友」の必読を推奨する

<活動計画>

1. マスコミや地域コミュニティーへ情報提供をする
2. 会報(週報)発刊のため写真などの情報収集をする
3. 「ロータリーの友」への掲載する記事を会員へ依頼する
4. ロータリー徽章の襟ピンの日常着用の推進する

クラブ管理運営委員会 委員長 原 久一君

「基本方針」

1. 年間プログラムの作成:クラブ方針に基づき、卓話などのプログラムを作成する
2. 出席率の向上を目指す: メーキャップ情報を発信する
3. IT(情報技術)の推進を図るための調査研究をする。

「活動計画」

- ①クラブ方針に基づき、卓話などのプログラムを作成する
- ②なるべく多くの会員に卓話の機会をつくるため、卓話実績を参考として卓話者を選ぶ
- ③卓話者には事前に確認の連絡をする
- ④卓話日程の変更は、1か月前までに委員会に報告することをお願いする
- ⑤年間出席率100%の会員に記念品の贈呈
- ⑥その他必要に応じ、クラブの効果的な運営を行う為の活動を行う

※修正出席率が低下しています。是非メイクアップをお願いします。

親睦活動委員会 委員長 森崎祐治君

<基本方針>

親睦を大切にする当クラブの伝統を踏まえて、会員及び会員家族の親睦を一層深める活動を企画、実施する。

<活動計画>

- ①親睦例会(夜間)の例会場を変更する等変化のある親睦例会とする。
- ②12月 会員と家族で楽しむ忘年家族例会を企画実施。
- ③1月 4クラブ合同新年会のホストクラブとして企画実施。
- ④6月 さよなら例会を企画実施。
- ⑤年3回テーブル会を実施し、会員の親睦を図る。



ロータリー情報委員会 委員長 矢岸克行君

〈基本方針〉

- 1.新会員がロータリーを充分理解し、ロータリー会員の特典と責務を把握できるよう援助する。
- 2.全会員にロータリー情報を適時に提供し、知識の向上を図り、ロータリアンとしての自覚を深める。
- 3.定款・細則の変更があった場合、理事会へ資料提出し、承認を得て会員に報告する。

〈活動計画〉

- 1.新会員が入会したとき、スポンサーとともに勉強会を開催して、ロータリーの基本的な情報を伝達する。
- 2.地区大会・地区協議会に参加し、情報の収集に努める。
- 3.地区の資料を収集し広報する。

職業奉仕委員会 委員長 佐々木雅浩君

1.職業奉仕は事業及び専門職務の道徳的水準を高め品位ある業務は全て尊重されるものという認識を深めると共にあらゆる職業にかかわる中で奉仕の理念を適用しながら活動を推進してまいります。

2.会員各位の事業や職務を相互に理解し合い地域社会に職業奉仕の輪を広げてまいります。

活動計画

- 1.会員相互の親睦を図り職業に対する理解を推進します。
- 2.職業奉仕の理念について会員相互において勉強します。
- 3.職場見学会を例会場にて映像とお話で実施します。(10月23日を予定)

社会奉仕委員会 委員長 藤江康儀君

〈基本方針〉

地域社会への援助、奉仕活動を基本にして、地域においてクラブの認知度向上につながる事業活動を実施する。

〈活動計画〉

- 1.献血運動への協力(8月23日に実施予定)
- 2.三島市国際交流協会と連携した奉仕活動
- 3.見晴フェスティバルへの参加、協力
- 4.柿田川公園桜の苑、苗栗の苑整備
- 5.盲導犬育成事業(新規事業)

国際奉仕委員会 委員長 野田和秀君

〈基本方針〉

苗栗RCとの中学生交換事業を中心にして進めてまいります。来年3月の中学生の派遣と共に、苗栗RCの周年記念式典参加も併せ計画致します。今年度は、台湾からRI会長(黄其光)が出ておられるので、いつもより式典も盛り上がるのではないのでしょうか。会員皆様の奮っての参加をお願い致します。特に両クラブの比較的若い会員同士の交流が図られれば幸いです。また今年度、交換中学生のOBと接触をはかり、当事業への評価を踏まえ今後の事業運営に生かせれば、と考えます。

〈活動計画〉

詳細は、計画書によります。そちらをご参照下さい。

今年度、苗栗RCの姉妹クラブであります多治見西RCから2630地区ガバナー(石垣智康氏)が出られている関係で、苗栗RCから多治見に地区大会への表敬訪問のため来訪されるかもしれません、その際には、当クラブへの訪問もあると思います。事前情報としてお知らせしておきます。

ロータリー財団米山委員会 委員長 柴崎恵子君

ロータリー財団

〈基本方針〉

ロータリー財団は国際ロータリーの慈善部門で、ロータリアンと支持者による自発的な寄付のみに支えられています。ロータリアンは人々の健康状態の改善、教育支援、貧困救済に努め、世界理解、親善、平和を促進する活動を行うことができます。

このことを会員各位に理解していただきまして、ロータリー財団へのご支援とご協力をお願いします。

〈活動計画〉

・2620地区の目標達成に協力する。

地区目標 年次寄付 US\$100 / 人・年

ベネファクター(US\$1000)1名以上

・地区ロータリー財団セミナーに出席し、必要があれば会員に情報を伝達する。

米山

〈基本方針〉

米山梅吉翁の「奉仕の精神」を継承し、併せて米山記念奨学会事業に対して会員各位が理解を深めていただくよう努める。

〈活動計画〉

・米山記念奨学事業への理解をいただき、寄付増進を図る。

・2620地区の目標 ¥16,000 / 人・年

(内訳: 奨学金 14億円、ロータリアン 87,000人)

・米山梅吉記念館改修寄付 ¥500 / 人

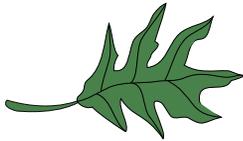
・米山梅吉記念館行事への参画と賛助金を会員各位にお願い致します

・米山奨学生の学友会活動、交流をサポートする

幹事報告

幹事 千葉慎二君

- ①本日はクラブ協議会。各委員長より今年度の運営の方針や計画について発表。(2~3分/人)
- ②来週は例会日変更。18日(金)。せせらぎ三島クラブとの合同例会。岡本ガバナーの公式訪問。せせらぎはネクタイを着用することだが、三島西は原則自由。差支えない方はできれば着用をお願いしたい。
- ③クラブ名称変更のお知らせ。
7月1日より、吉原ロータリークラブ ⇒ 富士山吉原ロータリークラブ。富士山の世界文化遺産登録とクラブ創立60周年を記念して。
- ④ロータリーの友の電子版の案内。
ホームページ(www.rotary-no-tomo.jp)にアクセスし、電子版をクリック。ID、PWともにrotary。
- ⑤三島市国際交流協会より会報誌MIRA通信が届きました。例会中に回覧。
- ⑥献血のお手伝い。8月23日(土)、三島のイトーヨーカ堂にて。メイクアップ扱い。



スマイルボックス

- ◆室伏君、職場見学例会で新チャペルの見学ありがとうございました。野田前会長の演奏楽しく聴かせていただきました。
- ◆室伏君、もう一口、先週のチャペルソルミエチャリティーコンサート「小出正吾ジントの音」朗読劇に野田さん、瀬川さんが友情出演、明治時代の子供役が大喝采でした。
- ◆窪田君、明日AM2:00に宮城に展示販売会に行きます。雨があまり降らないことを期待してスマイルします。平出さん、寄付ありがとうございました。

おめでとう

会員誕生日 室伏君、三田君
入会記念日 長田君、楢山君
奥様誕生日 鈴木(郁)君

ROTARY NEWS

歴史に残る1ページ:「ロータリー年度」の由来

ロータリー年度は、なぜ7月1日に始まるのかと、疑問に感じたことはありませんか。これは、毎年開催される国際大会に、その由縁があります。

ロータリーの最初の会計年度は、第1回大会が終了した翌日、1910年8月18日に始まりました。翌年度も同様に、国際大会の日程に合わせ、8月21日開始となっています。さらに翌年の1912年8月、理事会が当時の国際ロータリークラブ連合会の会計監査を依頼した際、クラブ幹事と会計が十分な時間をもって、大会に向けた財務報告を準備し、クラブ代議員の数を決定できるよう、会計年度の最終日は6月30日にするのがよとの提案を会計士から受けました。

執行委員会はこれに同意し、1913年4月の会合で、6月30日を会計年度最終日と決めました。この決定に伴い、クラブ会員数の報告と支払いに関する期日のほか、「ザ・ロータリアン」誌の巻番号システム(1914年7月の第5巻より開始)もまた変更されました。

ロータリーはその後、1917年まで、7月または8月に年次大会を開催していましたが、1916年大会(米国、シンシナティ)での代議員が、夏場の暑さを考慮し、大会を6月に開催する決議案を採択しました。これにより、次の大会となるアトランタ大会は6月17~21日に開催されました。

「ロータリー年度」という表現は、ロータリーの運営年度を示す用語として、1913年から使用されているようです。同年7月の「ザ・ロータリアン」誌には、「終わりに近づきつつある本ロータリー年度は、クラブが容易に集結できるよう、充実したクラブ合同会合が行われた一年でした」と記されています。

ロータリーの歴史資料室

(週報担当:川名正洋)

三島西RCテーマ

FTCで楽しくロータリー